

東日本大震災における仙台市の被害状況・対応等について

平成 23 年 4 月 8 日現在

1. 地震・津波概要

- ①発生日時 : 平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分ごろ
震央地名 : 三陸沖 (牡鹿半島東南東約 130km 付近)
震源の深さ : 約 24km (暫定値)
規模 : マグニチュード 9.0 (暫定値)
市内の震度 : 震度 6 強 宮城野区
震度 6 弱 青葉区、若林区、泉区
震度 5 強 太白区
- ②津波 : 3 月 11 日 14 : 49 太平洋沿岸に大津波警報発表 (気象庁)
14 : 53 津波情報伝達システム起動 (第 1 波到達時間は不明)
16 : 00 前後 最大波 (推定) 仙台新港浸水高 7.2m (気象庁調査値)
3 月 12 日 20 : 20 大津波から津波へ警報の種類切り替え (気象庁)
3 月 13 日 7 : 30 津波警報から津波注意報へ切り替え (気象庁)
3 月 13 日 17 : 58 津波注意報を解除 (気象庁)

2. 被害情報等

①人的被害

死者 : 511 名 行方不明者 : 調査中 負傷者 : 1,826 名

②住家被害

現在、建物被害認定中につき調査中

- ・公共建築物 (判定件数 314 件 うち危険 58 件 要注意 110 件)
- ・民間建築物 (判定件数 7,873 件 うち危険 1,233 件 要注意 2,196 件)

3. 避難所開設状況

各区の避難所数、避難者数 (4/8 12 : 00 現在) (参考) 市内最大の避難者数 (最大 3/12 11 : 30 現在)

	避難所数	避難者数
青葉区	6	108
宮城野区	17	1,115
若林区	19	1,808
太白区	3	90
泉区	1	44
合計	46	3,165

	避難所数	避難者数
青葉区	83	27,624
宮城野区	37	28,177
若林区	40	20,499
太白区	53	19,371
泉区	44	10,326
合計	257	105,997

4. 仙台市老連の被害状況

別添のとおり

仙台市老連の被害状況

【仙老連事務所】 職員 5 人在室

シルバーセンタービルが細かに揺れ、下から突き上げるような揺れに地震と感じる。強い横揺れにただならぬものを感じあたりをみまわす。(大地震発生)

石垣局長：背面のロッカーを押さえるも、揺れが大きく重ねた小ロッカーが書類もろとも振り落ちる。とっさに脇に避難、難を逃れる。

佐藤次長：背面のキッチン戸棚を押さえ、窓越しに外を見る。強い大きな横揺れ、ビルが壊れるのではと恐怖を感じる。施錠されている窓が内側に開く。テレビが応接ソファに転倒する。

高阪主任：コピーを取りに機械操作中、揺れの強さにしゃがみこむ。声もなし

岩井囑託：強い揺れに、パソコンと印刷機を押さえる。強く長い揺れが続き身体保護を指示する

黒須臨職：強い揺れに、机上の書類を押さえ、机の下に身体を保護する

【避難・退避】

大きな強い横揺れは、長時間（5～6分）続き、大ロッカーの扉が開き書類が飛び出す。大ロッカー上に重ねていた二段の小ロッカーは振り落ち、事務机上周りに書類が散乱する。コピー機落下、テレビ・電子レンジが転倒、あらゆる物品、書類が散乱、事務所内は手が付けられない状況となる。停電、非常灯が点灯する。各職員啞然として顔を見合わせる。大地震後も余震が続き館外避難の指示あり。声掛け合いながら、利用者と一緒に北側階段にて館外へ避難する。振り返るとシルバーセンター屋上から白煙が見える。近隣のビルからも大勢の避難者が道路上に避難、余震に地面、電線が揺れ皆不安な顔色。携帯画面に津波襲来の映像が流れる。上空にヘリコプターが飛来、市街地の被害状況把握に努めている模様。30～40分後館内に戻ると、屋上の水タンク倒壊し、7階フロアが水浸しとの情報。1階フロアにも水漏れあり、4階プールのひび割れによるらしい。階段にて6階へ、廊下の誘導灯付近、天井が損傷し一部落下している。事務室へ入ると天井から3箇所に漏水、水受け容器を設置しタオル等を手当て後床に散乱する書類等を寄せ応急措置を実施する。余震が続き安全の確保から、翌日片付けることとして、それぞれの自宅に徒歩にて帰宅する。

仙台市老人クラブ連合会は4月5日、会長・副会長連絡会議を開催。5区老連会長から報告がなされた。

【各区老連の状況・情報】

◎ 青葉区橋本会長（3/15 電話連絡、3/22.30 来所）

- ・中山一丁目の自宅は地割れ、住宅損壊により自宅生活困難になった。町内のアパートに転居し地域の人たちに手助けを受け、夫君介護をしながらの大変な状況が続いている。
- ・青葉区の地区会長は安否を確認し全員無事（及川会長情報）
- ・上野女性部長（3/15 電話連絡）無事確認、蕃山ガケ崩れのおそれによる避難勧告により折立中学校に避難所生活（9日間）を過ごした。

◎宮城野区本郷会長（3/14 バイクにて来所）

- ・燕沢の自宅、大きく損壊し生活できない状態。箆箆が転倒し電話機も壊れた。歩いて5分程の東光台の息子さん宅に同居生活となった。
- ・宮城野区高砂地区は津波被害により会員が多数犠牲となった（田辺会長情報）
仙台港キリンビール工場付近から多賀城まで海沿いは車の残骸が多数。
- ・区老連事務所は、パソコンなどの事務機器および関係書類が津波水損による被害大きく機能停止状態である。復旧に今すぐ助成金がほしい。

◎若林区佐藤会長（3/17 来所）家屋は大きな被害なし。電話は不通（3/22 復旧）

- ・若林区老連役員は全員無事確認（3/23）六郷、七郷の単老会長で連絡取れない方、会員に安否不明の方がいる。
- ・自転車に乗り深沼海岸まで状況を見に行ったが、仙台東部道路より東側地域の被害が大きい。道路の両側はガレキの山で、海沿いの松林は、見る影もなく無残な状況である。
- ・津波被害により六郷地区は5クラブ328人、七郷地区が5クラブ197人合計10クラブ525名の会員が消滅した。若林区老連として大きな衝撃を受けている。

◎太白区柴田会長(3/17 電話連絡) 家屋は大きな被害なし

- ・電気、水道が本日朝から復旧。電話に出ることができた。
- ・太白区老連役員は全員無事。四郎丸地区の会員の家族（2人）が津波の犠牲になられた

◎泉区近藤会長(3/16 電話連絡) 家屋は大きな被害なし。

- ・泉区老連役員は全員無事。3月29日役員会を開催した。